

研修会報告

令和3年11月8日

文責：佐藤 貴光

研修会テーマ「きほんの“き”から学ぶ呼吸機能検査 ～これであなたも呼吸機能検査がちょっと好きになる～」

開催日時 令和3年10月23日（土）14：00～16：30

会場 Web開催

司会 仙台市立病院 佐藤 貴光

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員参加者79名 合計79名

講演1 「きほんの“き”から学ぶ呼吸機能検査～VC・FVC編～」

講師：青森県立中央病院 臨床検査部 佐藤 舞 技師

座長：石巻赤十字病院 伊藤 光汰

講演2 「きほんの“き”から学ぶ呼吸機能検査～FRC・DLco編～」

講師：北海道大学病院 検査・輸血部 山本 雅史 技師

座長：仙台市立病院 佐藤 貴光

内容

「きほんの“き”から学ぶ呼吸機能検査 ～これであなたも呼吸機能検査がちょっと好きになる～」と題し、各呼吸機能検査の測定原理、結果の採択、ピットフォールなどの基礎的な内容を学ぶ機会として、企画・開催した。

講演1では、VC、FVCについてわかりやすく講演していただいた。特に、呼吸機能検査をスムーズに進めるためのコミュニケーションについての解説が印象的であった。ポジティブなコミュニケーションを駆使し、患者さんとの信頼関係を築くことが効率的な検査への近道であるとのことであった。妥当性の判断、再検査時の注意点についても、多くの事例を交えながら解説していただき、現場の技師にとって有意義な内容であったと考える。

講演2ではFRC・DLcoについて、まさにきほんの“き”から学べる内容であった。検査の実際やチェックポイントなどについて、動画を交えて紹介していただき、これから検査を始める初級者にとっても非常に分かりやすい内容であった。その他、ガス分析を用いる検査の再測定の注意点、見るべき指標、基準値などについて詳細に解説していただいた。精密肺機能検査は、原理や結果解釈が複雑で、苦手意識を持つ技師も少なくない。今回の講演は苦手意識を払拭する良い機会であったように思う。

肺機能検査の研修会は全国的にも少なく、参加者にとって有益な研修会であったと思われる。第一線で活躍するスペシャリストの講演は、まさに「呼吸機能検査がちょっと好きになる」内容であった。今後も宮城県臨床検査技師会員にとって価値ある研修会を開催してい

きたい。